

## 奥多摩（小怒田尾根）

山行日 9月21（月）天気：曇りのち晴れ

参加者 1名

記：SF

コース：武蔵五日市駅7：39→千足バス停8：10→高黒山10：20→  
富士見台10：40→大滝分岐10：55→大岳山11：35→  
白倉バス停13：35→千足バス停13：45→  
払沢の滝入口バス停13：55→武蔵五日市駅14：25

奥多摩小怒田尾根のバリルートへ、このルートは途中高黒岩の通過が最大の難所です、入口は、千足バス停より、すこし進んだ慰霊碑の階段をのぼり、慰霊碑の裏側に作業用の道があり、そこから登る、作業の道の為、急登な直線で登り替えがある、途中伐採のエリアに来ると、ふみ後は不明瞭となるが、上を目指して登ると、そこからはまた尾根筋に踏み後がある、またこのエリアは林業作業が行われているため、立木に白いテープが所々に巻いているので、それを目印に登る、約1時間位登ると、高黒岩に到着、正面に大きな岩が出てくる、ネットの情報で、左側にトラバースし、登れそうな場所を見つけボルダリングの要領で何度も右左にトラバースぎみのルートを探しながらのぼる、途中に残置ロープがあり苔が付いていた、昔に設置された物で使用はできないが、このルートで問題が無い事を確信した、約20分位で、岩場を抜け尾根に出た、本日の一番の目標はクリアー尾根道を20分位登って行くと高黒山の山名標識の場所に到着、ここから富士見台までは平坦な尾根道で歩きやすい、一般登山道の合流場所にはロープが張られていて、この先行き止まりの標識があった、ここから大岳山までは、多少のアップダウンを繰り返白倉分岐まで行き、そこから大岳山方面へ登って行く、その先で大岳山方面への分岐の標識がありその方向に進むそこから、約100m位の場所に、左側の尾根に登る分岐があるその場所には、標識はないが、道なりに行くと大岳山神社経由で大岳山には行けるが距離は長い今回は左側の尾根道を登っていった、距離は短いが急登です、大岳山の山頂にでた、そこには20数名の登山者が昼食を取っていた、昼食を済ませ、来た道を白倉分岐まで、戻り白倉バス停を目指して下山を開始した。白倉分岐よりの登山道は人口林の九十九折の道で石が多く下山には注意が必要、約70分位で白倉バス停に到着その後、車道を千足バス停に行き、バスの到着時間に余裕があった為、払沢の滝まで歩く、バス停には多くの観光客がいたが増発便のバスが到着し、その場所に乗車し武蔵五日市駅へ、登山計画書の時間より約90分早く到着した、小怒田尾根は、多少のクライミングの経験者で無いと、入山はやめた方が良い。



千足バス停



この階段を上り慰霊塔に裏が登山道



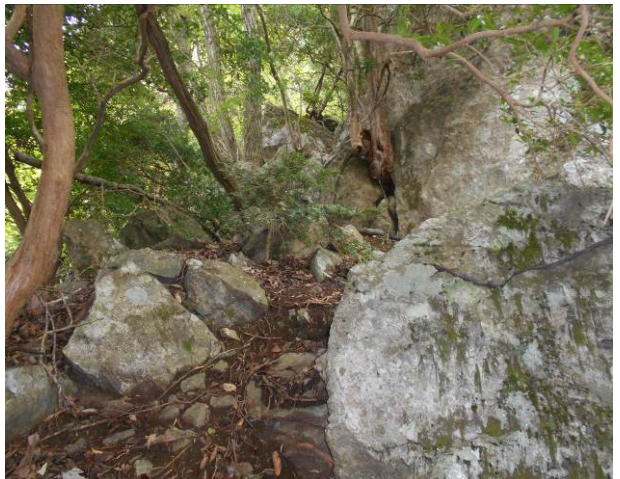
踏み後はあるが急登直線



伐採作業現場 踏み後は不明



その後踏み後を辿り又立木にペンキで印がある



高黒岩に到着 岩の間を通過



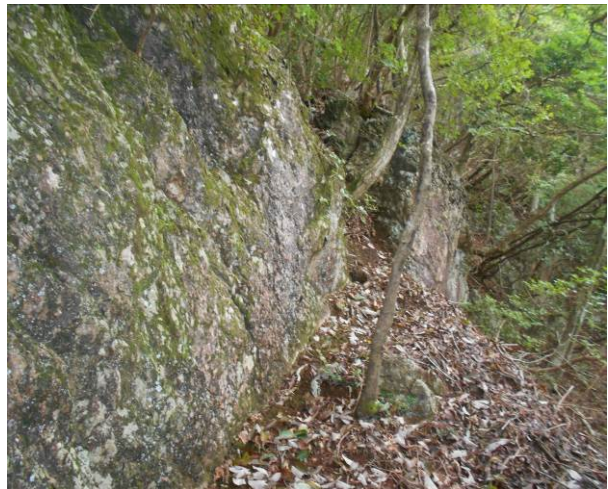
正面の右側を回りその上がルート



登って北ルートを振り返る



岩場を通過し尾根に出た



岩の右側を 通過



高黒山に到着本日の難所を通過



一般登山道に合流正面より登って来た  
ロープがあり上にこの先行き止まり標識



東屋の奥側が小怒田尾根の出口



この場所が富士見台  
曇りで 富士山は見えない



白倉への分岐



行先表記に御岳山が両方に？  
通常では大岳山経路が正しい  
奥側は鋸山へのルート



大岳山山頂直下



大岳山 山頂 本日は20数名の登山者  
で賑わっていた



大岳山分岐の手前の祠



白倉分岐よりの登山道九十九折で  
石が多く歩きにくい



下って来た登山道を振り返る



林道に合流 林道でも白倉バス停に



林道の反対側に白倉バス停標識  
登山道を今回は下る



登山道の終点ここからは歩道道となる



払沢の滝付近の橋上からクルミが  
沢山実っていた この場所では  
取る事は出来そうもない



橋の上からみた秋川溪谷  
時間が無いので滝は見ていない